

国際ロータリー第 2820 地区の皆さま、残暑お見舞い申し上げます。灼熱の北半球から暑いロータリー活動をお届けします。

1, R 財団管理委員長から感謝状を受理

当地区における 2022-23 年度の補助金活用において、補助金報告要件の少なくとも 90%の遵守を達成したことに対し、下記の通りイアン H.S. ライズリー 財団管理委員長からの署名入りの感謝状をお送り頂きました。



感謝状

ロータリー財団より以下の地区に贈呈いたします

2820

ロータリー補助金の報告において

2022-23

年度に少なくとも90%が遵守されたことを称えます

イアン H.S. ライズリー
管理委員長

2, 水戸さくら RC の地区補助金活動

今年度の地区補助金活動の先陣を切って、水戸さくら RC (岡田晃会長) の社会奉仕活動が茨城新聞に掲載されました。環境保全の観点から、老朽化した設備を廃棄し新設するのではなく、既存の資源を再利用しより快適な設備に改修しています。



【動画はこちらから】

<https://www.youtube.com/watch?v=uSxulBicxfg>

3, グローバル補助金奨学生

GG 奨学金に応募した田原知佳さんが合格し、奨学金 3 万ドルの一部を支給しました (水海道 RC 推薦)。田原さんは9月からイギリスのサセックス大学院に留学し、1120 地区イーストボーン AMRC の支援を受けながら開発学修士を目指されます。

4, ネパールからプロジェクト完了報告

下館 RC とつくば学園 RAC は 3292 地区 (ネパール) RC Narayangarh と協力して、ネパール南部チプチブ村の先住民 60 世帯 (約 360 人) の社会経済環境を改善しました。

本プロジェクトでは次の設備を設置しました。

- 1, 谷底の集水タンク設置
- 2, 浄水設備の設置
- 3, 山頂の貯水タンクの設置
- 4, 配管の敷設
- 5, 揚水設備の動力電源として 7.5 馬力ソーラー発電ポンプの設置
- 6, 自然落下配管を居住地まで敷設
- 7, 住宅に取水場の設置
- 8, 学校に取水場の設置
- 9, オレンジ畑に散水設備を設置。

その結果、住民は家でも学校でも安全な飲料水を飲むことができるようになりました。そして女兒たちは日課の水汲みから解放され学校へ行けるようになりました。また、特産品のオレンジは収穫量が上がり、品質が良くなったことから、安定収入が得られるようになりました。

村民は、安定した農業収入から自分たちで設備のメンテナンスや拡張が可能になり持続可能なコミュニティ開発が期待されます。

水の支援は、村民の健康・女兒のエンパワメント・地域経済の発展・コミュニティのガバナンスに良い変化を与える持続可能な開発につながりました。



【動画はこちらから】

<https://youtu.be/-NIsOotMDL8>

国際ロータリー第 2820 地区
ロータリー財団委員会を代表して
新井和雄